

常磐大学 人間科学部現代社会学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅠ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|--------------------------------------|---------|--|-------------------------------------|---|-------------------------|--------------------------|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）ゼミナールⅠで取り扱う現代社会に関連するテーマについて理解できる。 | 理解度 | テーマをよく理解し、さらに探求するための活動ができる。 | テーマをよく理解し、さらに探求するために必要な事項を考えられる。 | テーマを理解できる。 | テーマをある程度理解できる。 | テーマを理解できない。 |
| （2）研究するうえでの倫理的態度や基礎的技能を身に付けている。 | 実践能力 | レジュメ作成のための基本的事項を理解しており、それを十分に使うことができる。 | レジュメ作成のための基本的事項を理解しており、それを使うことができる。 | レジュメ作成のための基本的事項を理解しており、それをある程度使うことができる。 | レジュメ作成のための基本的事項を理解している。 | レジュメ作成のための基本的事項を理解していない。 |
| （3）必要な資料を収集し、発表のために活用できる。 | 調査・発表能力 | 情報を集めて、レジュメを作成することができ、なおかつ順序だてた発表に活用できる。 | 情報を集めて、レジュメを作成することができ、なおかつ発表に活用できる。 | 情報を集めて、レジュメを作成することができ、ある程度発表に活用できる。 | 情報を集めて、レジュメを作成することができる。 | 情報を集めて、レジュメを作成することができない。 |

常磐大学 人間科学部現代社会学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅡ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|--------------------------------------|---------|--|---|---|-----------------------------|------------------------------|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）ゼミナールⅠで取り扱う現代社会に関連するテーマについて理解できる。 | 理解度 | テーマに関連する文献やデータの理解にとどまらず、自立的に探究するための活動ができる。 | テーマに関連する文献やデータをよく理解できる。 | テーマに関連する文献やデータがある程度理解できる。 | テーマに関連する文献やデータを必要最低限理解できる。 | テーマに関連する文献やデータを理解できない。 |
| （2）研究するうえでの倫理的態度や基礎的技能を身に付けている。 | 実践能力 | ゼミ発表のための基本的事項を理解しており、それを十分に使うことができる。 | ゼミ発表のための基本的事項を理解しており、それを使うことができる。 | ゼミ発表のための基本的事項を理解しており、それをある程度使うことができる。 | ゼミ発表のための基本的事項を理解している。 | ゼミ発表のための基本的事項を理解していない。 |
| （3）必要な資料を収集し、発表のために活用できる。 | 調査・発表能力 | 必要な情報を集めて、レジюмеを作成することができ、なおかつ順序だてた発表に活用できる。 | 必要な情報を集めて、レジюмеを作成することができ、なおかつ発表に活用できる。 | 必要な情報を集めて、レジюмеを作成することができ、ある程度発表に活用できる。 | 必要な情報を集めて、レジюмеを作成することができる。 | 必要な情報を集めて、レジюмеを作成することができない。 |

常磐大学 人間科学部現代社会学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅰ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|----------------------------------|-----------|--|--|---|---|---|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）卒業論文を仕上げるための計画を立てることができる。 | 計画能力 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいのかを理解し、それを具体的な計画として作成できる。 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいのかを理解し、それを計画として作成できる。 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいのかを理解し、それをある程度の計画として作成できる。 | 卒業論文の合格基準を理解しており、ある程度の計画として作成できる。 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいのかを理解していない。 |
| （2）卒業論文を作成するために必要な知識・技能を身に付けている。 | 実践能力 | 卒業論文執筆マニュアルにある参考文献の書き方、参照、引用、先行研究、方法論について理解しており、それらを自立的に適応できる技能を身に付けている。 | 卒業論文執筆マニュアルにある参考文献の書き方、参照、引用、先行研究、方法論について理解しており、それらの適応できる技能を身につけている。 | 卒業論文執筆マニュアルにある参考文献の書き方、参照、引用、先行研究、方法論について理解しており、ある程度、それらの適応できる技能を身につけている。 | 卒業論文執筆マニュアルにある参考文献の書き方、参照、引用、先行研究、方法論について、ある程度理解している。 | 卒業論文執筆マニュアルにある参考文献の書き方、参照、引用、先行研究、方法論について理解していない。 |
| （3）文献調査を進めることができる。 | 調査能力 | 卒業論文のテーマに関連する文献を網羅的に調査するための調査計画を立て、実行することができる。 | 卒業論文のテーマに関連する文献を調査するための調査計画を立て、実行することができる。 | 卒業論文のテーマに関連する文献を調査するための調査計画を立て、ある程度実行することができる。 | 卒業論文のテーマに関連する文献を調査するための調査計画をある程度立て、必要最低限、実行することができる。 | 卒業論文のテーマに関連する文献を調査するための調査計画を立てることができない。 |
| （4）卒業論文の中間報告のための資料を作成できる。 | 資料作成・発表能力 | 中間報告のための資料を、卒業論文作成計画に沿って作成し、完成までに必要な事項を理解している。 | 中間報告のための資料を、卒業論文作成計画に沿って作成することができる。 | 中間報告のための資料を、卒業論文作成計画に沿ってある程度作成することができる。 | 中間報告のための資料を、必要最低限の内容として作成することができる。 | 中間報告のための資料を、作成することができない。 |

常磐大学 人間科学部現代社会学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅱ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|----------------------------------|------|---|--|--|--|---|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）卒業論文を計画に沿って仕上げるができる。 | 計画能力 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいかを理解し、合格基準以上の卒業論文を仕上げている。 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいかを十分理解し、卒業論文を仕上げるができる。 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいかをある程度理解し、卒業論文を仕上げることができる。 | 卒業論文の合格基準を理解し、卒業論文を仕上げるができる。 | 卒業論文の合格基準と提出期限までに何をすればよいかを理解しておらず、卒業論文を仕上げるができない。 |
| （2）基準に見合う卒業論文を作成できる。 | 応用能力 | 現社卒業論文ルーブリックの合計点が90点以上である。 | 現社卒業論文ルーブリックの合計点が80点以上90点未満である。 | 現社卒業論文ルーブリックの合計点が70点以上80点未満である。 | 現社卒業論文ルーブリックの合計点が60点以上70点未満である。 | 現社卒業論文ルーブリックの合計点が60点未満である。 |
| （3）卒業論文を作成するための倫理的態度や技能を身に付けている。 | 実践能力 | | | | 卒業論文作成にあたり、社会調査、執筆の倫理を理解している。社会調査倫理規程に沿って調査を実施しており、卒論に剽窃箇所がない。 | 卒業論文作成にあたり、社会調査、執筆の倫理を理解しておらず、剽窃箇所が見られる。 |